



環境マネジメントシステム

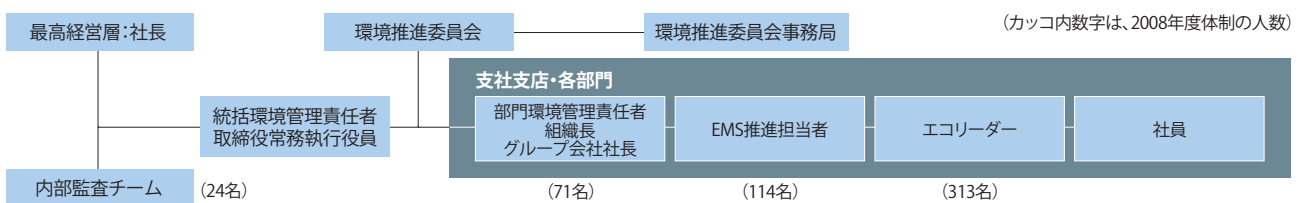
会社全体としての取り組みに加え、支社支店や各部門においても、EMS(環境マネジメントシステム)推進担当者やエコリーダーを中心とした取り組みを展開し、環境負荷の削減に努めています。

環境推進体制と役割

日本ユニシスグループ全体の統括環境管理責任者のもと、組織長またはグループ会社社長がそれぞれの部門/会社の環境管理責任者に就くとともに、各部門においてはEMS推進担当者およびエコリーダーが中心となって、日々の活動を推進しています。

また、全体推進組織として、日本ユニシス環境推進委員会と事務局を設置しています。

環境推進体制



ISO14001認証取得および内部監査の状況

2008年度の日本ユニシスグループにおけるISO14001認証取得状況は18社104サイト228部門となりました。また、当社グループは日本環境認証機構の更新審査において、「合格」の認定を受けました。



一方、2008年11月~12月に実施された内部監査においては、監査対象(グループ18社、104サイト)のうち、「不適合(重大)」が0件、「不適合(軽微)」が4件、「改善」が56件となりました。なお、日本ユニシスグループの事業活動において対象となるすべての法規制などに関し、環境推進活動を開始した2002年度から2008年度まで違反はありません。

<http://www.unisys.co.jp/eco/law.html/>

法規制などの順守状況

グリーン調達取り組み

日本ユニシスグループでは、調達品のグリーン購入を実施しています。標準的な調達品に関しては従来より「グリーン調達ガイドライン」に従って調達を実施しています。また2008年度は個別に購入する調達品に関しても、仕入先94社に対して環境保全に関するアンケート調査を行いました(回答率:73%)。今後は基本契約のなかに環境保全に関する条文を加えるとともに、各社の環境への取り組み状況を仕入先を選定する際の指標としていく予定です。

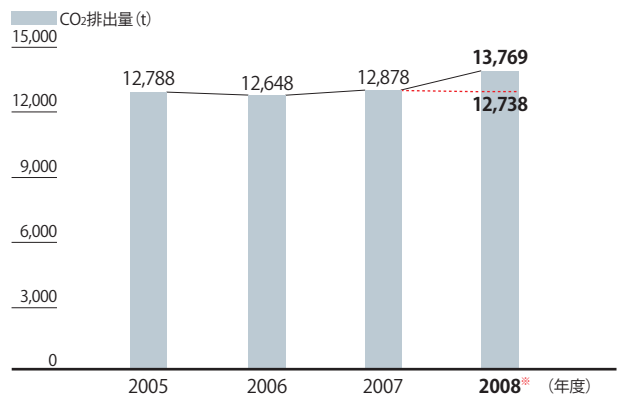
CO₂排出量の削減

電力使用量の削減を中心として、グループ全体での事業活動を通じたCO₂排出量削減に努めています。

2008年度の日本ユニシスグループにおけるCO₂排出量は13,769トン※でした。これは2007年度の12,878トンと比べて891トンの増加となりますが、要因として、2008年度より新たに事業所1ヵ所、関連会社1社が集計対象に加わったことが挙げられます。上記対象分(事業所1ヵ所、関連会社1社)を除くと、全体での排出量は12,738トンとなり、2007年度と比較して140トン減少しています。

※ CO₂排出量は、対象となるグループ会社の対象サイト(ビル)での電力使用量を、環境省温室効果ガス排出量算定方法(排出係数:0.378kgCO₂/kWh)に従って換算した値

CO₂排出量の推移



※ 集計範囲は、日本ユニシス、ユニアデックス、USOLホールディングス、USOL北海道、USOL東北、USOL東京、USOL中部、USOL関西、USOL中国、USOL九州、日本ユニシス・エクセリションズ、国際システム、エイタス、トレードビジョン、日本ユニシス・ラーニング、日本ユニシス・ビジネス、日本ユニシス・アカウンティング、ネットマークスの18社



ユニハートの社会貢献活動やイベントでの触れ合いをとおして、多くの社員の人たちの温かい応援や、やさしい気持ちを感じています。

1979年入社 円城寺 昌子



仕事や趣味のスポーツをとおして、人とのコミュニケーションや心のつながりを大切にしています。

1978年入社 井上 悦孝